



恵田小新聞

令和3年

3月19日

第160号

卒業おめでとうございます



ふるさと恵田からいつまでも

校長 内山 彩由実

令和二年度。この一年をきつと私たちは、これから忘れることはないでしょう。突然の臨時休校。そして、たくさんの変更や中止を繰り返す日々。六年生としてみなさんがどんな思いで毎日に立ち向かってきたのかを想うと、胸がいっぱいになります。しかし、このかけがえのない毎日を、みなさんはしっかりと優しく力を合わせて恵田小学校を支え続けてくれました。

照りつける太陽のもと、汗だくの登校。低学年の子のランドセルを押しつけてくれたりそっと荷物を持ってくれたりする優しい姿がありました。困っている恵田っ子がいると、いつも丁寧な話を聴いて助けてくれる頼もしい力がありました。

大変な時代を共に笑顔で、前を向き歩んできた十二人の卒業生のみなさん。あなた達はこれからもずっと私たちの誇りです。みなさんの未来への旅立ち。ふるさと恵田から永遠に応援しています。

卒業おめでとう

PTA会長 青木 利行

六年生の皆さんにとって、小学校生活はどうでしたか？入学式が始まり、運動会、学芸会や落ち葉スキー、山の学習に修学旅行など沢山の行事が思い出されます。また友達や先生、学区の方との出会いがありました。それらの中で多くの事を学び、嬉しい事や悲しい事など色々な経験をしてきた事でしょう。

これからも皆さんは様々な経験をしていきます。楽しい事ばかりではなく辛い事もあるかもしれません。そんな時にはこれまで経験してきた事や多くの人との関わりの中で学んだ事を思い出して下さい。心がホッとしたり、何かヒントが見つかるかもしれません。そして目標を見つけそれに向かって努力しましょう。頑張った分だけ素敵な未来が待っています。両親や友達、先生や学区の方とのご縁も大切に。人との繋がりは貴重な財産になりますよ。

六年生の皆さんのこれからも、希望に満ちた明るい未来であると信じています。卒業おめでとう。